課題研究

学校番号	3010

令和5年度　工業（インテリアデザイン）　科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究では、インテリアデザイン科で2年間学び身に付けた知識や技術を生かし、デザインに関する様々な事柄を生徒が自ら問題意識を持って取り組む授業です。外部の学校や団体と交流を持ち、ニーズにあった製品の制作や、空間の考察等を班別実習で学び、実際の製品提案や空間を作品制作やプレゼンテーションを通して学習します。

履修条件
なし

2学習の到達目標

これまでの学習により身に付けてきた知識と技術を活用させ、専門的な知識と技術などの深化・総合化を図り、工業やデザインに関する課題の解決に主体的に取り組み実践することができるようにする。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	課題を解決する力の向上をめざして自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	工業のインテリアに関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。	工業のインテリア分野について体系的・系統的に相互に関連付けられた技術を身に付ける。	工業のインテリア分野について体系的・系統的に理解する。
評価方法	・学習状況の観察 ・実習ノートの記述 ・作品 ・レポート ・発表 ・自己評価 ・相互評価等	・学習状況の観察 ・実習ノートの記述 ・作品 ・レポート ・発表 ・自己評価 ・相互評価等	・学習状況の観察 ・実習ノートの記述 ・作品 ・レポート ・発表 ・自己評価 ・相互評価等	・学習状況の観察 ・実習ノートの記述 ・作品 ・レポート ・発表 ・自己評価 ・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	研究計画	・オリエンテーション ・デザインワーク ・施設見学 ・研究テーマの設定 ・デザイン調査 ・研究の計画 ・材料用具の購入計画 ・下描き ・コンセプトボード ・試作制作	〇	〇	〇	〇	a:グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。b:デザインワークを通しコンセプトに合わせた構想を練り、創意工夫する。c:工業製品や、教具、空間デザインなどの調査をする。d:工業製品や、教具、空間デザインなどの理解を深める。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価 相互評価 等
2	研究制作	・作品制作 ・切削加工 ・研磨加工 ・組立加工 ・仕上げ加工 ・考察 ・プレゼンテーションボード作成	〇	〇	〇	〇	a:グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。 b:作品制作において独創的に解決策を探究し創造的に思考、判断、表現している。 c:必要な加工技術を適切に使用して制作している。 d:制作過程を理解し、工程計画を立てている。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価 相互評価 等
3	研究発表	・作品制作 ・交流授業 ・展示空間の考察 ・ディスプレイ計画 ・プレゼンテーション ・振り返り	〇	〇	〇	〇	a:グループワークを中心に問題解決に向けて協働的に取り組む。 B:展示空間の考察や、プレゼンテーション等伝える為の方法について創意工夫している。 C:必要な加工技術を適切に使用し制作している。 d:制作過程を理解し、工程計画を立てている。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品 レポート 発表 自己評価 相互評価 等

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。